

夏休み 囲碁入門教室の報告

廣島 松治

「夏休み、囲碁にチャレンジ！未来の能力を掘り起こせ」という青少年教育講座が令和 3 年 8 月 17 日（火）から 20 日（金）で開かれました。会場はクリエイイトホール生涯学習センター。参加したのは初心者の小学生 16 名です。講師は日本棋院普及指導員の倉内満氏と同学校囲碁指導員の廣島松治、ボランティアとして帖地美乃里氏、信江峻氏、三浦晴久氏、成田滋氏が加わりました。40 年にわたり囲碁教室等で指導されている大ベテランの倉内講師が九路盤を使い、解りやすくも丁寧に言葉を選びながら解説されました。

学習内容ですが、初日は挨拶の仕方、アタリ、トリ、禁じ手、二日目は逃げ切れない石、三日目は握り、シチョウ、ゲタ、オイオトシ、ウツテアゲ、コミ、整地の仕方などの話題です。碁の用語の説明に対して、子ども達から質問も出ました。「シチョウとはどんな漢字か」というものです。

最終日の囲碁大会では、対戦組み合わせの都合で保護者も一名参加されました。優勝は佐々木友君、準優勝は譜久村彩奈さん、三位は門馬玄武君、下村修造君となりました。

初日から保護者の参加が目立ち、子ども達と熱心に学ぶ姿が印象的でした。お爺ちゃん、お婆ちゃんの一組も見えて、孫の姿に終始ニコニコされていました。

休憩時間では、八王子市や東京都の木、花、鳥をあてるクイズ、百人一首の読み上げ、なども楽しみました。

最後に倉内講師らから参加者全員にお土産が、信江氏から集合写真が贈られ 4 日間の教室を無事終了しました。



(令和 3 年 8 月 22 日)